

**第1回生徒総会を開催しました**

5月12日(水)、全校生徒による生徒会の最高審議機関である、今年度1回目の生徒総会が開催されました。

生徒総会に先だち、生徒会執行部から今年度の生徒会テーマが発表になりました。

令和3年度 生徒会テーマ**挑**

互いを思いやり、関わりの輪を広げよう

総会では冒頭で、生徒会長のT.Sさんから、「各専門委員会の活動内容を全校生徒で共有しよう。」という生徒総会の趣旨を確認するあいさつがありました。

その後、議長団のK.Iさん、T.Rさんの歯切れのよい進行で、円滑に審議が進められました。執行部、学年代表や各専門委員長から令和2年度後期の活動報告、令和3年度前期の重点目標と活動計画が説明され、それに対する質疑応答という形で、真剣な審議がくり広げられました。

疑問な点の確認や、建設的な要望や意見が出されていくなかで、ある委員会の日常の活動に対する感謝や激励の言葉を発表してくれた3年生の生徒がおり感激しました。このように、お互いの活動を認め合い、共感し合う姿に確かな成長を感じるとともに、さすが3年生と感心しました。先輩の姿を手本に、後輩たちも後に続いてほしいと思います。

この生徒総会で、今年度の生徒会活動の方向性が決定しました。後は、実践あるのみです。自分たちの手で、学校生活をより充実させ豊かなものとするために、一人一人が主役となって、「自分は角中生徒会のために、何ができるか?」ということ、常に自分自身に問いかけながら活動してくれるよう願っています。

また、今の中学生が将来、大人として迎える社会は、「AI(人工知能)と共存、共創する社会」と予想されています。そのような社会で人間には、AIには身に付けることが困難な主体性・協働性・創造性が求められるとも言われています。日々の、生徒会活動をとおして、この3つの力を身に付けてくれることにも期待しています。

**本校の取組①(読解力向上)**

全教科に共通して読解力(文章を読んで、その意味・内容を理解する力)不足が、本校生徒の課題として、これまでの客観的な諸調査で明らかになっていました。

そこで今年度も、毎週木曜日の朝読書の時間に、「読み方レスキュー」を行っていません。読解力向上をねらったドリルを活用しながら、次の7つの力を育むことを目指しています。

- ①文章の確定
→ 日本語の決まりにしたがって読む力
- ②接続の把握
→ 語や結びつきを理解する力
- ③情報の選択
→ 必要な情報を選ぶ力
- ④関係の整理
→ 対比・類似・並立などの関係を理解する力
- ⑤具体と抽象
→ 抽象的な表現と具体例を対応させる力
- ⑥論理推論
→ 論理的に推論する力
- ⑦図との対応
→ 文章と図を対応させる力

週1度ではありますが、意図的・計画的に取り組むことで、読解力の向上を図っていきたいと思います。生徒たちには、読書と新聞を読むことも奨励しています。

残念な県春季体育大会の中止

新聞等で報道のとおり、この週末から開催が予定されていた県春季体育大会が中止となりました。

本校からは、男女剣道と女子柔道の団体、女子バスケットボールの三競技への出場が予定されておりました。夏の総体を前に、自分たちの今の力を確認できる機会を失ったことを残念に感じています。

これまで、本県におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた、様々な対応が図られてきました。しかしながら、地域によっては感染者の増加に歯止めがかからず、複数のクラスターが発生している現状にあります。今回の秋田県中学校体育連盟の苦渋の決断を、ご理解くださいますようお願いいたします。

県春季大会へ出場を予定していた生徒と、ご家族の方々の気持ちを考えるといたたまれない思いですが、新型コロナウイルス感染症の収束を願いつつ、中学校運動部活動の集大成となる夏の総体に向けて、気持ちを切り換えて、日々の歩みを進めていきましょう。